



新庁舎屋上庭園 園児が苗植え体験

屋根からの日射負荷を遮り、屋上緑化で省CO₂を図っている新庁舎屋上庭園で、サツマイモの苗植え体験が、5月18日に開催されました。富岡保育所と富岡幼稚園の園児（5歳児）約50人が参加し、合計1,200本の苗を植えました。なお、日頃の水やりは自動灌水装置で行い、11月に収穫祭を実施する予定です。富岡幼稚園の鎌田朔久くん（5歳）は、「みんなでたくさんの苗を植えました。秋のお芋掘りが楽しみです」と話していました。



阿南市フェイスブック 阿南市や地域の出来事をいち早くチェック！

市ホームページからご覧いただけます。
http://www.city.anan.tokushima.jp/

News Oasis



憧れの選手から指導 少年野球教室が開催

「J A全農WCBF（一般財団法人世界少年野球推進財団）少年野球教室」が、5月20日にJ Aアグリあなんスタジアムで開催され、市内外から12チーム、207人が参加し、元プロ野球選手から技術指導を受けました。本事業は、子どもや指導者に正しい野球知識を身に付けてもらおうとWCBFが主催。指導には、西崎幸広さん（元日本ハム）や里崎智也さん（元ロッテ）、緒方耕一さん（元巨人）、鈴木尚広さん（元巨人）があたりました。投手の部を担当した西崎幸広さんは、ピッチングフォームを示しながら、正確に速く投げる

方法を具体的にアドバイス。参加者は、熱心に野球技術の習得に取り組んでいました。富岡スワローズの藤原琥太郎さん（11歳）は、「憧れの選手に教えてもらえてよかったです。たくさん練習して、野球がうまくなりたいです」と話していました。

大規模災害時 医療救護活動に関する協定を締結

本市と特定非営利活動法人アムダは、「大規模災害時における医療救護活動に関する協定」を締結しました。本協定の内容は、阿南市内で大規模災害が発生した際に、市からアムダに医療救護班の派遣要請を行い、要請に応じて医療救護班を派遣してもらい、阿南市医師会と協力し医療救護所などで傷病者の応急措置および医療活動を行うことなどです。5月30日の調印式では、AMD Aグループ代表の菅波 茂さんは、「災害時には、協定に基づきできるかぎりの医療活動を行います」とあいさつされました。



遍路道整備のため 自主製作CD収益金を寄付

遍路道の整備に役立ててほしいと、富岡小学校教頭の島村 孝さん（56歳）ほか2人から阿南市に自主製作CDの収益金5万円が寄付されました。このCDは、島村さんが四国遍路をテーマに作詞し、徳島市の2人組バンド「g u M」の長田太一さん（48歳）と秋山裕香さん（29歳）が作曲・歌を手がけたもの。5月31日に行われた目録贈呈式では生演奏で曲が披露されました。



AMA 10周年 四国東南部の魅力を発信

阿南市と高知県室戸市、安芸市の3市が県境を越えて連携し、広域的な地域・観光振興に取り組むAMA地域連携推進協議会の総会が5月31日に市内ホテルで開催され、関係者約50人が出席しました。総会では、今年で10年目となる協議会の活動について、AMA 3市の観光地や食を中心としたPR活動を行い、全国から四国東南部への観光客誘客を図ることを確認しました。



昔日の土佐街道をゆく 阿千田峠でウォーキング

ウォーキングイベント「阿千田峠の古道を歩こう」が5月21日に開催され、約80人が参加しました（阿南武道親交会主催）。コースは、岩脇小学校から阿千田峠を越えて立江町までの往復約2 km。阿千田峠を訪れるのは初めてという人も多く、峠の清掃活動に取り組んでいる「あせんだ峠の会」の皆さんの道案内で、竹林の景色を楽しみながら歩き、爽やかな汗を流しました。

河内志郎さんに感謝状 野球のまち阿南総会

「野球のまち阿南推進協議会」の総会が5月23日にひまわり会館で開かれ、本市出身の河内志郎さん（72歳・小松島市）に感謝状が贈られました。河内さんは、長年モンゴル国との野球交流を支援し、国を超えた交流に多大な貢献をされました。なお、野球のまち阿南を構想し10年目を迎えた総会では、モンゴル国少年野球チームを招待する「少年野球全国大会」（7月20日～24日）など今年度の25事業が承認されました。



ICTを活用「あなんテレワーク推進センター」開設

働く場所や時間にとらわれないICT（インターネットなどを利用した情報・通信技術）を活用したテレワークを普及するため、「あなんテレワーク推進センター」を6月2日に開設しました。センター内には、会員が自由に利用できるパソコンなどを備えたコワーキングスペースやキッズスペースを設置しています。また、スタッフが常駐し、随時相談を受け付けるとともに、イベントやワークショップ、養成講座を開催する予定です。

徳島建労阿南支部 ボランティアで修繕活動

県下住宅デーにあわせて、徳島県建設労働組合阿南支部23人が、5月21日に見能林小学校で修繕活動を行いました。本活動はきれいな学校で児童に学んでほしいと7年前からボランティアで行っているもの。参加者は教室の床の張り替えや窓の修復、遊具の塗装など痛み劣化している箇所を丁寧に修繕していました。同支部長の吉岡孝男さん（67歳・津乃峰町）は、「これからも地域の役に立つ活動を行いたい」と意気込んでいました。

